環境、つなぐ未来。

NICHICON

NIPPON CONCEPT CORPORATION

第31期 中間報告書

2024年1月1日 ▶ 2024年6月30日



日本コンセプト株式会社

証券コード：9386

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は2017年に高圧ガス事業に参入し、高圧ガスに係る様々なニーズにワンストップでご対応していく当社独自のビジネスモデルを構築し営業展開をして参りました。昨年６月には、代替フロンをはじめとした様々な高圧ガスを専業で取り扱う子会社として『日コン外航ガスタンクケミカル株式会社』を設立し、本年は大阪と新潟に営業所を開設するなど営業体制を整えております。今後も、国内・海外を問わず様々な企業のニーズに臨機応変に対応して、新規開拓をして参る所存です。

2024年は、『日コン外航ガスタンクケミカル株式会社』にとって、事業開始２年目であります。当社グループの最大拠点となる新潟支店の開設を含め、一段と充実したサービスをご提供できる体制を構築しながら、ケミカルタンクコンテナを取扱う『日本コンセプト株式会社』と共に、より多くのお客様に最高品質のサービスをご提供できるよう社員全員が自己研鑽を進めながら社会に貢献して参ります。

引き続き、皆様の一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年８月
代表取締役社長　**松元　孝義**

日本コンセプト株式会社　企業理念

1. わたしたちは、地球の環境破壊を防ぎ、反復利用できる輸送容器を活用した国際総合物流サービスを通じ、人類が未来永劫に亘り活躍できる社会の維持に貢献します。
2. わたしたちは、働く厳しさと喜びを共有するボーダレスな国際総合物流カンパニーとして、高品質でお客様にご信頼いただけるサービスを、責任をもってご提供いたします。
3. わたしたちは、修練された技術のサービスをご提供するため、日頃より克己して研鑽に努めます。
4. わたしたちは、広く社会全体に奉仕する公共性と豊かな国際性を備えた、社会に誇れる環境国際物流企業として邁進します。

事業の概況

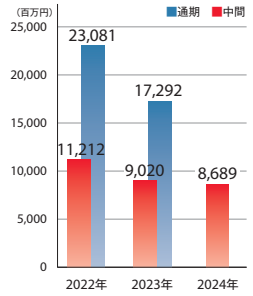
当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高8,689百万円、営業利益1,470百万円、経常利益1,507百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は1,034百万円となり、業績予想に対する達成率は、売上高においては93.3%、営業利益においては98.2%、経常利益においては102.1%、親会社株主に帰属する中間純利益においては102.6%を達成しました。

当中間連結会計期間前半は、内需が乏しいなかでも大量生産を続けた中国からの安値での過剰輸出により韓国・台湾を中心とした東アジアの化学品メーカーの製品は価格競争力を失い、日本の大手メーカーも主力製品の減産を行ったため日本からの輸出は落ち込み、当社の業績は予算を大きく下回りました。その上、イスラム教フーシ派による紅海での船舶への無差別攻撃や異常気象による水位低下によりスエズ運河やパナマ運河の通行が制限を受け航海日数の増加等が発生しました。しかしながら、３月後半からはアジア出し北米向けのコンテナ輸送ニーズが急激に高まり、日本出しコンテナの船積みスペースが不足する事態となりました。このスペース不足は、欧州向け、インド向け、最終的には東南アジア向けにも飛び火し、その起因が海上運賃も高騰するに至りました。この様なコンテナの積載スペースの確保が難しい状況下、当社は世界各国の船会社と粘り強い交渉を続けることにより積載スペースを確保し、顧客のニーズに応えることに注力しました。この結果、当中間連結会計期間前半の予算の進捗の遅れをほぼ取り戻すことができました。更に、国内輸送においては、2024年問題に直面するなか長距離ドライバーを必要としない鉄道や内航船、貨物フェリーを利用したモーダルシフトを可能とするタンクコンテナの優位性をアピールした啓蒙活動をしながら全国的に幅広く営業を推し進めております。

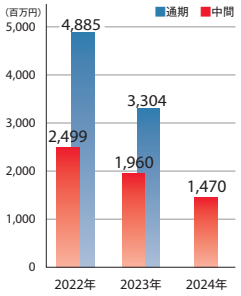
また、当社の新規ビジネスである高圧ガスビジネスにおいては、主にフロンガスを中心とした高圧ガス事業専門の子会社である日コン外航ガスタンクケミカル株式会社（2023年６月設立）における当中間連結会計期間の売上高は481百万円となり、前中間連結会計期間における高圧ガス事業の売上高462百万円を上回る業績を達成しました。

財務ハイライト（連結）

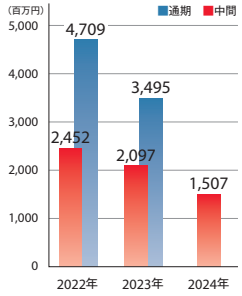
■売上高



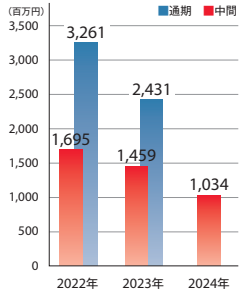
■営業利益



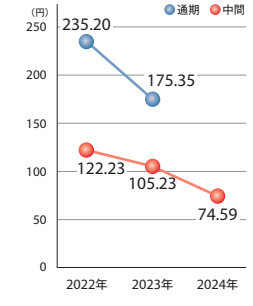
■経常利益



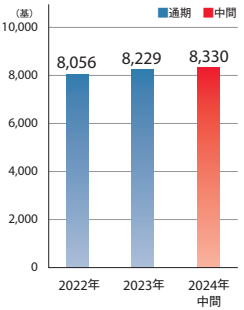
■親会社株主に帰属する中間（当期）純利益



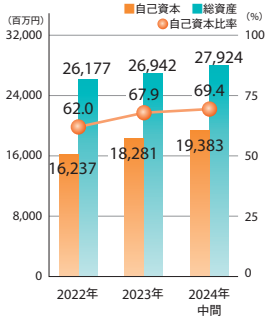
■1株当たり中間（当期）純利益



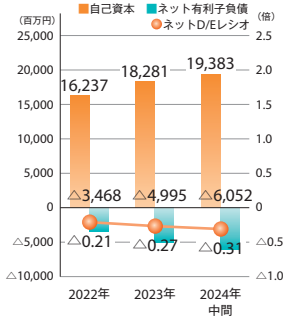
■タンクコンテナ保有基数※1



■自己資本比率



■ネットD／Eレシオ※2



※1 タンクコンテナ保有基数：従来、保有基数にはレンタルタンクを含めた運用基数を記載しておりましたが、当中間連結会計期間よりレンタルタンクを除いた当社が所有するタンクコンテナの基数を記載します。

※2 ネットD／Eレシオ（倍）＝（有利子負債－現預金）÷自己資本 … 長期の支払能力（安全性）をはかる指標

TOPICS

新潟を起点としたビジネス拡大について



日本コンセプト株式会社並びに日コン外航ガスタンクケミカル株式会社は、日本海側最大の国際物流港湾である新潟港から10㎞圏内の立地に、9月中のオープンを目指して当社グループ最大規模となる新潟支店（約8,500坪）を新たに建設中です。

従来の新潟支店ではケミカルタンクコンテナの洗浄業務のみを行って参りましたが、半導体関連や産業ガスを中心に高圧ガス全般に対するトータル・ソリューション・サービスをご提供すると共に、従来担っていなかったケミカルタンクコンテナを利用した加温・保管サービスも開始して参ります。

また新潟支店を建設するにあたり本年5月1日には新潟営業所を開設しており、新潟を起点として群馬県をはじめとした北関東や富山県を含めた北陸地方に加え、東北地方もカバーした営業活動を推進し、地場企業の営業開拓を推進して参ります。

タンクコンテナの優位性及び国際物流港湾である新潟港の利便性を活かすことにより、従来にも増してお客様のご要望に迅速かつ丁寧にお応えできる体制を構築していく所存です。

連結業績推移

区　分		第28期（2021年12月期）	第29期（2022年12月期）	第30期（2023年12月期）	第31期中間（2024年12月期）
売上高	（百万円）	17,000	23,081	17,292	8,689
売上総利益	（百万円）	4,348	6,836	5,222	2,502
営業利益	（百万円）	2,803	4,885	3,304	1,470
経常利益	（百万円）	2,720	4,709	3,495	1,507
親会社株主に帰属する中間（当期）純利益	（百万円）	1,919	3,261	2,431	1,034
純資産	（百万円）	13,099	16,237	18,281	19,383
総資産	（百万円）	22,364	26,177	26,942	27,924
１株当たり純資産額	（円）	944.61	1,170.85	1,318.25	1,397.76
１株当たり中間（当期）純利益	（円）	138.45	235.20	175.35	74.59
自己資本比率	（%）	58.6	62.0	67.9	69.4
自己資本当期純利益率	（%）	15.7	22.2	14.1	5.5
営業活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	2,546	5,703	4,024	1,759
投資活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	628	△ 555	△ 2,554	△ 1,453
フリーキャッシュ・フロー	（百万円）	3,174	5,147	1,469	305
財務活動によるキャッシュ・フロー	（百万円）	△ 1,253	△ 1,530	△ 1,230	△ 920

連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科　目	第29期 (2022年12月31日)	第30期 (2023年12月31日)	第31期中間 (2024年6月30日)	増　減
【資産の部】				
流動資産 (※1)	13,622	13,668	14,635	966
現金及び預金	9,824	10,997	11,616	619
受取手形、売掛金及び契約資産	3,136	2,302	2,652	350
その他	762	476	487	11
貸倒引当金	△ 100	△ 106	△ 121	△ 14
固定資産 (※2)	12,554	13,273	13,288	15
有形固定資産	11,995	12,736	12,737	0
建物及び構築物（純額）	1,384	1,269	1,188	△ 81
タンクコンテナ（純額）	7,818	7,081	6,820	△ 260
土地	2,195	3,091	3,091	△ 0
その他	595	1,293	1,636	343
無形固定資産	164	123	114	△ 8
投資その他の資産	395	413	437	23
資産合計	26,177	26,942	27,924	982

（単位：百万円）

科　目	第29期 (2022年12月31日)	第30期 (2023年12月31日)	第31期中間 (2024年6月30日)	増　減
【負債の部】				
流動負債 (※3)	4,673	3,682	4,064	381
買掛金	1,483	1,390	1,455	65
短期借入金	70	80	85	5
1年内返済予定の長期借入金	520	431	410	△ 21
リース債務	837	878	969	91
未払法人税等	1,160	320	521	201
その他	603	582	622	39
固定負債 (※4)	5,266	4,978	4,476	△ 502
長期借入金	1,372	1,596	1,400	△ 195
リース債務	3,555	3,016	2,698	△ 317
その他	338	366	376	10
負債合計	9,940	8,660	8,540	△ 120
【純資産の部】				
株主資本	15,805	17,647	18,335	687
資本金	1,134	1,134	1,134	—
資本剰余金	1,060	1,060	1,060	—
利益剰余金	13,610	15,452	16,140	687
自己株式	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
その他の包括利益累計額	431	633	1,048	414
純資産合計 (※5)	16,237	18,281	19,383	1,102
負債純資産合計	26,177	26,942	27,924	982

※1　流動資産は、前連結会計年度末に比べ966百万円増加（7.1%増）し、14,635百万円となりました。現金及び預金が619百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が350百万円、その他流動資産が11百万円増加したことが主な要因です。

※2　固定資産は、前連結会計年度末に比べ15百万円増加（0.1%増）し、13,288百万円となりました。建物及び構築物（純額）が81百万円、タンクコンテナ（純額）が260百万円減少したものの、その他有形固定資産が343百万円、投資その他の資産が23百万円増加したことが主な要因です。

※3　流動負債は、前連結会計年度末に比べ381百万円増加（10.4%増）し、4,064百万円となりました。1年内返済予定の長期借入金が21百万円減少したものの、買掛金が65百万円、リース債務が91百万円、未払法人税等が201百万円、その他流動負債が39百万円増加したことが主な要因です。

※4　固定負債は、前連結会計年度末に比べ502百万円減少（10.1%減）し、4,476百万円となりました。退職給付に係る負債が15百万円増加したものの、長期借入金が195百万円、リース債務が317百万円減少したことが主な要因です。

※5　純資産は、前連結会計年度末に比べ1,102百万円増加（6.0%増）し、19,383百万円となりました。利益剰余金が687百万円、その他の包括利益累計額の内、為替換算調整勘定が414百万円増加したことが主な要因です。

中間連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科　目	第29期 2022年１月１日から 2022年12月31日まで	第30期 2023年１月１日から 2023年12月31日まで	第30期中間 2023年１月１日から 2023年６月30日まで	第31期中間 2024年１月１日から 2024年６月30日まで	増　減
売上高 (※6)	23,081	17,292	9,020	8,689	△ 330
売上原価	16,244	12,070	6,130	6,186	56
売上総利益	6,836	5,222	2,889	2,502	△ 386
販売費及び一般管理費	1,951	1,917	929	1,032	102
営業利益	4,885	3,304	1,960	1,470	△ 489
営業外収益	30	273	179	79	△ 100
営業外費用	206	82	41	42	0
経常利益	4,709	3,495	2,097	1,507	△ 590
特別利益	0	0	—	0	0
特別損失	0	5	—	2	2
税金等調整前中間（当期）純利益	4,708	3,491	2,097	1,506	△ 591
法人税等	1,447	1,059	638	471	△ 166
中間（当期）純利益	3,261	2,431	1,459	1,034	△ 424
親会社株主に帰属する中間（当期）純利益	3,261	2,431	1,459	1,034	△ 424

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

科　目	第29期 2022年１月１日から 2022年12月31日まで	第30期 2023年１月１日から 2023年12月31日まで	第30期中間 2023年１月１日から 2023年６月30日まで	第31期中間 2024年１月１日から 2024年６月30日まで	増　減
営業活動によるキャッシュ・フロー (※7)	5,703	4,024	2,481	1,759	△ 722
投資活動によるキャッシュ・フロー (※8)	△ 555	△ 2,554	△ 1,751	△ 1,453	298
フリーキャッシュ・フロー	5,147	1,469	729	305	△ 423
財務活動によるキャッシュ・フロー (※9)	△ 1,530	△ 1,230	△ 614	△ 920	△ 306
現金及び現金同等物に係る換算差額	121	193	240	206	△ 34
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,738	433	356	△ 407	△ 764
現金及び現金同等物の期首残高	3,435	7,173	7,173	7,606	433
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	7,173	7,606	7,530	7,199	△ 330

※6　コンテナの積載スペースの確保が難しく海上運賃も高騰するなか、当社は世界各国の船会社と粘り強い交渉を続けることにより積載スペースを確保し、顧客のニーズに応えることに注力しました。この結果、当中間連結会計期間前半の予算の進捗の遅れをほぼ取り戻すことができました。更に、国内輸送においては、2024年問題に対してドライバーを必要としない鉄道や内航船、貨物フェリーを利用したモーダルシフトを可能とするタンクコンテナの優位性をアピールした啓蒙活動をしながら全国的に幅広く営業を推し進めております。
　また、当社の新規ビジネスである高圧ガスビジネスにおいては、主にフロンガスを中心とした高圧ガス事業専門の子会社である日コン外航ガスタンクケミカル株式会社（2023年６月設立）における当中間連結会計期間の売上高は481百万円となり、前中間連結会計期間における高圧ガス事業の売上462百万円を上回る業績を達成しました。

※7　営業活動の結果得られた資金は、1,759百万円（前中間連結会計期間は2,481百万円の収入）となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前中間純利益1,506百万円、減価償却費731百万円であり、主な資金の減少要因は、売上債権203百万円の増加、法人税等の支払額307百万円です。

※8　投資活動の結果支出した資金は、1,453百万円（前中間連結会計期間は1,751百万円の支出）となりました。主な資金の減少要因は、定期預金の純増加額887百万円、有形固定資産の取得による支出565百万円です。

※9　財務活動の結果支出した資金は、920百万円（前中間連結会計期間は614百万円の支出）となりました。主な資金の減少要因は、長期借入金の返済による支出216百万円、リース債務の返済による支出361百万円、配当金の支払額346百万円です。

■ 会社の概要

社名	日本コンセプト株式会社
設立	1994年1月
資本金	11億34百万円
従業員数	194名（連結）
業種	ISOタンクコンテナを用いた国際物流業
事業内容	・反復利用可能なタンクコンテナを活用した、サステナブルなトータルソリューションの提供 ・化学品をはじめとした各種の液体や高圧ガスの国際複合一貫輸送 ・タンクコンテナを活用した貨物の保管、加温、移し替え ・タンクコンテナのリース、メンテナンス、法定検査 ・フロンガスをはじめとした各種ガスの保管、回収、再生、無害化 ・残留貨物の適正な処分
取引銀行	三菱ＵＦＪ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、商工組合中央金庫、日本政策金融公庫、その他

■ グループ会社

日コン外航ガスタンクケミカル株式会社
NIPPON CONCEPT SINGAPORE PTE. LTD.
NIPPON CONCEPT MALAYSIA SDN. BHD.
EURO-CONCEPT B.V.
NICHICON EUROPE B.V.
NICHICON UK LIMITED.
NIPPON CONCEPT AMERICA, LLC.

■ 主な事業所所在地

本社	東京都千代田区内幸町二丁目2番2号 富国生命ビル8階
京浜支店	神奈川県川崎市川崎区浮島町12番8号
京葉臨海支店 京葉臨海高圧ガス事業所	千葉県富津市新富101番5
中部支店 中部営業所	三重県四日市市高浜新町1257番2号
神戸支店	兵庫県神戸市中央区港島八丁目11番6号
阪神支店	兵庫県神戸市中央区港島八丁目11番6号
大阪営業所	大阪府大阪市北区豊崎三丁目15番5号 TKビル5階　502号室
水島支店 水島営業所	岡山県倉敷市玉島乙島7471番252号
徳山支店 徳山営業所	山口県下松市葉山一丁目819番13号
新潟出張所	新潟県新潟市東区船江町一丁目55番30号
新潟営業所	新潟県新潟市北区濁川4307番1

■ 役員

代表取締役社長	松元　孝義	社外取締役	桜田　治
常務取締役	若園　三記生	取締役監査等委員	樋川　浩造
取締役	岩崎　祐世	社外取締役監査等委員	有賀　隆之
取締役	河村　信三	社外取締役監査等委員	相浦　義則
取締役	幸地　秀樹		
取締役	中村　友		
取締役	国松　明		

■ 株式の状況

発行可能株式総数	46,992,000 株
発行済株式総数	13,868,500 株
株主数	7,214 名

上位10名の株主の状況

株主名	持株数（株）
株式会社商船三井	4,021,800
松元　孝義	2,934,500
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	971,400
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	503,600
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	421,000
CACEIS BANK/QUINTET LUXEMBOURG SUB AC/ UCITS CUSTOMERS ACCOUNT	333,200
有限会社エムアンドエム	300,000
蓮見　正純	152,500
山田　美波	150,000
MSIP CLIENT SECURITIES	135,500

■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
単元株式数	100株
基準日	12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　証券代行部
上場取引所	東京証券取引所　プライム市場
証券コード	9386
公告方法	当社の公告方法は、電子公告としております。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりであります。 https://www.n-concept.co.jp/

（ご注意）
1．住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
　株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
　なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申し出ください。
2．未払配当金の支払いについて
　株主名簿管理人である三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社にお申し出ください。

VEGETABLE OIL INK
FSC www.fsc.org ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C022915